

はしがき

■ 編集の趣旨

本書は、「集中2週間完成」シリーズの一冊として、漢文の入門期に必要な句法を中心に、重要な文字、漢詩についての基礎的な知識を身につけ、あわせて漢文の基本的な読解力を養うことを目標として編集しました。主として高校一年生を対象としましたが、漢文の基本を復習しようという二・三年生にも役立ちます。

■ 本書の特長

- 1 句法については、入門期に必要なと思われる基本的なものを精選して取り上げました。特に、否定の形、疑問・反語の形の理解を重視して、これらについてはページ数を増やし、皆さんがじゅうぶんに学習できるようにしました。
- 2 重要な文字については、入門期の教材として多く採用される文章の読解に役立つものを精選して取り上げました。
- 3 漢詩については、基本的な知識をわかりやすくまとめ、皆さんが知識を整理するのに役立つようにしました。
- 4 学習のポイントには、それぞれの学習日のテーマに必要な知識を簡潔に、見やすく、わかりやすくまとめました。皆さんは別冊解答書の解説とあわせて学習してください。
- 5 問題文本文(漢文)は、「学習のポイント」に対応する文を、主として国語Iや古典Iの漢文教材などの中から選びました。また

第8日以降は比較的長い文章も取り上げ、読解力が身につくようにしました。

6 設問は、句法や重要な文字については、漢文の学習において最も基本となる書き下しと口語訳を中心としました。漢詩については、基本的な知識を使いこなすことを中心にしました。また、解答欄を設け、直接解答が書き込めるようにしました。

7 別冊解答書を用意し、解答の他に、学習のポイントの解説や解答の解説を収録しました。

● 学習のポイント解説では、学習のポイントを詳しく解説し、より深く学習できるようにしました。

● 解答の解説では、設問に必要な知識について説明し、自分の力で解答し自己採点する時の参考となるようにしました。また、問題文の口語訳や書き下し文が必要な場合は、この解説の中に収録しました。

本書を選んだ皆さん、本書を毎日四〇分、二週間じっくり勉強して、漢文の基本をしっかり身につけてください。

目次

第1日	送りがな・返り点	4	第8日	否定の形 (1) (基本的な否定と禁止)	18
第2日	漢文の構造	6	第9日	否定の形 (2) (部分否定・二重否定)	21
第3日	書き下し文	8	第10日	疑問・反語の形 (1)	24
第4日	再読文字	10	第11日	疑問・反語の形 (2)	27
第5日	使役・受身の形	12	第12日	重要な文字 (1)	30
第6日	比較選択・願望の形	14	第13日	重要な文字 (2)	33
第7日	仮定・抑揚の形	16	第14日	漢詩	36

学習のポイント

漢文を読む(訓読する)ための記号を訓点という。訓点には送りがなと返り点がある。

送りがな

- ① 歴史的かなづかいによるかたかなを用い、文語文法に従って、漢字の右下に小さく書く。
- ② 活用語の場合は活用語尾、副詞や接続詞の場合は原則として最後の一字を送る。また、助詞や助動詞を送りがなとして補うこともある。
- ③ 送りがなは教科書によって異なる送り方をすることもある。

返り点

漢字の左下に返り点がない場合は上から下へ順番に読む。返り点がある場合はその指示に従う。

- ① レ点 下にある漢字一字を先に読む。
②①
 - ② 一ニ点 「一」までいって「二」へもどる。
③① ②
 - ③ 「二」以上ある場合は、「二」、「三」、またはそれ以上の数字までいって順にもどる。
⑤① ④② ③
 - ④ 上下点 一ニ点をはさんで、「上」までいって「下」へもどる。
⑤③① ②④
 - ⑤ 「中」がある場合は、「上・中・下」の順にもどる。
⑦① ⑥④② ③⑤
 - ④ レ点・上レ点 先にレ点に従い、次に一ニ点や上下点に従う。
④① ③②
 - ⑤ 一ニ点や上下点などに従い下から返って読む熟語には「一」をつける。
②③ ①
- ◎返り点にはその他に「甲乙点」「天地点」がある。

① 読み方を参考にして、次の漢文に送りがなをつけなさい。

- (1) 但見涙痕湿。
但だ見る涙痕の湿ふを。
- (2) 輕舟已過万重山。
輕舟已に過ぐ万重の山。
- (3) 疑是地上霜。
疑ふらくは是れ地上の霜かと。

② 返り点に従って読む順に□に番号を入れなさい。

- (1) □レ□レ□□ (2) □三□□□一□
- (3) □下□ニ□□□上 (4) □下□レ□ニ□□□中□上
- (5) □□□レ□□ (6) □下□□□□□□
- (7) □□□□□ (8) □下□□□レ□□□□□
- (9) □□□□□□□□□□

③ □内の番号の通りになるように返り点をつけなさい。

- (1) □②□①□④□③ (2) □④□③□②□①□⑤□③□④
- (4) □④□②□①□③ (5) □①□⑧□②□⑤□③□④□⑥□⑦
- (6) □⑤□②□③□①□④ (7) □⑥□①□⑤□②□④□③

④ 読み方を参考にして、次の漢文に送りがなと返り点をつけなさい。

- (1) 少年易老学難成。 少年老い易く学成り難し。
- (2) 有陰徳者必有陽報。 陰徳有る者は必ず陽報有り。
- (3) 不入虎穴不得虎子。 虎穴に入らずんば虎子を得ず。
- (4) 他山之石可以攻玉。 他山の石以て玉を攻むべし。
- (5) 士不可以不弘毅。 士は以て弘毅ならざるべからず。
- (6) 桃李不言、下自成蹊。 桃李言はざれども、下自ら蹊を成す。
- (7) 一編一詠膾炙人口。 一編一詠人口に膾炙す。
- (8) 不知其能千里食也。 其の能の千里なるを知りて食はざるなり。
- (9) 瓜田不納履、李下不正冠。 瓜田に履を納れず、李下に冠を正さず。
- (10) 孤極知燕小不足以報。 孤極めて燕の小にして以て報するに足らざるを知る。